

SANSEI QUALITY
三誠の施工品質を支える基礎設計部

基礎設計部は、お客様と「共に悩み、共に解決する」をモットーに、最適解をご提案します。

三誠の確かな設計提案を支える基礎設計部についてご紹介させていただきます。

基礎設計部は、三誠の技術部から派生した新しい部署で、主に設計者様に対して杭の本数提案などの設計協力を行っています。

私たちは、技術開発部とお客様との橋渡し役です。

物件ごとの最適解をご提案するのが私たちの仕事だと考えています。ただし、手掛ける現場は2度と同じものはありません。また、地盤との相互作用など不透明な点が多々あります。故に基礎的な研究、実験は欠かせません。

これは永遠のテーマでもあります。よりよい最適解を求めるべく日々基礎設計部と技術開発部が連携を取り合っています。

常に最新の技術を生み出すべく研究開発（R&D）を行うのが技術開発部で、そこで生み出された最新の技術を使って皆様と協業するのが基礎設計部です。

今はECS・TP工法に注力しています。

飛躍的に工期を短縮できる三誠独自の、



ECS・TP工法に関しては、これから積極的に提案していきたいと考えています。

施工実績としては、日本全国で300物件を超えており、これからの時代に必要とされる「省人化」「省力化」「品質管理」のみならず、生コンプラントがなく入手が困難な離島の工事などで大きく貢献しています。

そのメリットを知っていただくために、ECS・TP工法の設計用資料を作成し、技術的なポイントをしっかり伝えられるよう今後も、構造設計や構造コンサルティングを行うグループ会社の三誠エンジニアリングと連携していきます。

ECS・TP工法に関しては、まだまだ私、

技術開発部
基礎設計部

BEST SOLUTION

3つの部署が連携して
多くのメリットをご提供します。

営業部

工事部

て、迅速に検討・対応していくようにしたいと思っています。

他部署との連携も大切な要素です。

技術開発部や三誠エンジニアリングとの連携はもちろんのこと、営業部や工事部といった他部署との連携も欠かせません。

設計者様やゼネコン様とやりとりを行い杭のご提案をしています。営業部、工事部、基礎設計部とも、「よい品質」を目指して、「施工に問題はないか?」「コスト面は大丈夫か?」といった意見交換を活発に行いながら、密接に連携してトータルに提案していくことを常に意識しています。

今までのデータの蓄積がより良い提案のベースになっています。

当社の施工実績数は、6月末までで約1万3,000件、近年においては年2,000件を超える施工実績があります。エリアも全国にまたがっているため、各エリアの地盤や特性を把握できています。

工事の記録はデータベースサーバーへ収納されていますので、近隣データが必要な場合はお問い合わせください。

私たち基礎設計部は、これからもお客様との対話を通じて、「モットーである「共に悩み、共に解決する」をより深く実践していきます。



無溶接継手 せん断実験

三誠の 建築構造分野へのこだわり

杭から上部構造まで対応できる
体制づくりを目指します。

三誠は、これからの成長のために建築構造技術に特化した新たな挑戦が不可欠であると考えています。

構造設計や構造コンサルティングを手掛けるグループ会社である株式会社三誠エンジニアリングの設立や大阪大学、東京理科大学等との産学共同研

究による技術開発機能の強化は、ECSパイルシリーズの汎用性を高めるための施策です。

三誠は、基礎杭事業を足掛かりに新しい技術、新工法を模索。三誠グループ全体として新しい提案ができる体制を目指します。

新卒社員紹介

フレッシュな3名が入社しました。
見かけたら気軽に声をかけてください。

本多 光

新井 佳希

工学部建築学科卒です。大学では建物に関する意匠（建物デザイン）や環境・温度環境の計算など、構造・建物の強度の計算などの3分野を学び、構造分野の研究室に所属していました。

三誠のことは就職活動中に教授に勧められて知りました。いろいろと調べたうえで、杭の事業に興味を持つようになり、三輪社長から「構造の分野で色々な事業を展開していく」と聞いたので、構造の仕事に関わると考え入社を決めました。

まずは施工管理の仕事のやり方を覚えたいです。実際の建物に使われる杭の施工法などを理解したいと思っています。いずれは杭の設計や工法の開発をやりたいです。グループ会社である三誠AIR断震の事業にも興味があります。

武村 祐

工学部の建築都市環境学科で、設計コースに所属していました。自分でデザインした建物の図面や模型の製作や、構造力学系の講義を中心に受講していました。

入社後のきつかけは、就職活動をしていった時に所属ゼミの教授に紹介



武村 祐 新井 佳希 本多 光

営業所紹介 ⑩ 九州営業所

九州営業所
所長 大庭 健児

抜群のチームワークで 販路拡大中。

ECS・TP工法の 実績も豊富です。

開設して5年目を迎えますが、最初は右も左も分からず、お客様や知り合いが一人も居なかったで、当時のメンバーで死にもの狂いで自転車走りまわり、最初の受注をいただいた時の感動はいまだに忘れられません。

九州は伝統的に、柱状改良とPHC杭などの既製杭が主流であり、九州営業所を開設して丸4年経った今でもその現状は大きく変わっておりません。そんな厳しい状況下でも地道に銅管杭の良さをアピールすることにより、徐々に銅管杭の市場が拡がりつつあります。

特にECS・TP工法は、従来の低層建築はもとより、JRの駅舎や牛舎などにも採用いただくなど、全国の営業所に先がけて新たな販路を開拓してきました。

これによりECS・TP工法を畜産分野や農業分野へ売り込むためのきっかけを作ったことは全社的に高く評価いただいております。

他の営業所とも積極的に連携をとり合い、九州以外のエリアでの新聞折込みや実際の施工などをお願いしています。

今後の抱負として、建築・土木業界に従事する方々が減少し業界自体のシンクが予測される中で、確実に管理ができて、施工も



石井 英雄 大庭 健児 浜砂 昌也 榎 朋子
中村 英弘 平山 健次

少人数で対応でき、なおかつエコで汎用杭としての実績も増えつつあるG・ECSパイル工法を九州全土で拡販していきたいと考えています。また、業界の革命児と言っても過言ではないECS・TP工法を積極的にアピールしていくことで、九州営業所をさらに大きくしていきたいと思っています。

明るくチームワーク抜群の九州営業所を今後ともよろしく願っています。